

申請書類（B方式試験）の書き方

認定試験の受験のためにご提出いただく書類の書き方につきましては、以下に示す説明と記入例を参考にしてください。

A-1. 日本人間工学会認定人間工学専門家資格 認定試験受験申込書

学会会員番号につきましては学会雑誌送付時の宛名ラベルに記載されている4桁の数字をお書きください。

なお、出願と同時に入会手続きをする場合には記入しなくて結構です。

B-1. 経歴書

最終学歴（大学院修了の場合には、学部卒から）からお書きください。

住所および電話番号は、確実に連絡ができるよう、所属・自宅とも必ず記入して下さい。
電子メールアドレスも必ず記入して下さい。

C-1. 大学・大学院等における専門教育受講履歴、取得学位及び関連単位取得表

大学又は大学院等において取得した人間工学専門科目および関連科目の名称とその概要について記入してください。ページ数が不足する場合はコピーしてお使いください。

専門科目 人間工学の専門知識・能力（表1参照）を修得することを目的として開講される科目を指します。

関連科目 人間工学専門科目ではないが、人間工学の専門知識・能力の習得に大きく寄与する科目を指します。

単位は、週に1回90分の講義が1年の半期（前期又は後期）にわたる場合を2単位とします。

C-2. その他の人間工学専門教育受講履歴

大学又は大学院等以外において受講した人間工学専門家として必要な教育履歴を記入してください。受講科目名、その概要、主催、受講時間等詳細に記入してください。

単位換算の欄は、2時間0.2単位（端数切捨て）として換算し、記入してください。

D-1. 人間工学の実践に関する業務歴

D-2. 業務歴整理シート

人間工学を専門として実践した業務・プロジェクトの履歴の詳細を記入して下さい。

「人間工学を専門として実践した業務・プロジェクト」とは、例えば次のような業務を指します。

1. 人間工学に関する情報の収集と分析
2. 人間工学に基づく実験、意匠や設計、評価
3. 人間工学の視点からの提言、助言、指導、情報提供
4. 人間工学に関する教育、訓練

まず、業務・プロジェクト名、実施期間、概要、申請者が果たした役割、実践した人間工学の専門知識・能力、実践した形態について記入し、これを手順に沿って実務経験期間に換算してください。すべての業務歴を記入した後、業務歴整理シートを使って合計を算出してください。実務経験期間の計算において有効となるのは、業務・プロジェクトに要した時間の中で人間工学に関する業務の時間に限りです。この合計が120ヶ月(10年)以上であることが、受験資格のひとつになりますので、120ヶ月以上となっていることを必ずご確認ください。

申請書式は3件分用意してありますが、記入いただく件数に制限はありません。

所定の業務機関を満たすのであれば、1件でも結構です。

用紙が不足の場合にはコピーしてお使いください。

なお、人間工学の専門知識・能力の分類については、表1を参照してください。

表1 人間工学の専門知識・能力の分類

	項目	内容
I	人間工学の原理	人間工学の歴史、人間工学の哲学と倫理、人間工学の応用分野などの人間工学の背景に関する部分
II	人間特性	生活・産業場面における人間の行動・パフォーマンスに関わる基本的特性に関する部分
III	人間の特性の測定・評価	種々の人間の特性すなわち行動・パフォーマンス、生理・生化学的、形態・姿勢等の測定・評価に関する部分
IV	環境特性	生活・産業場面における人間の行動・パフォーマンスに影響を及ぼす基本的環境特性に関する部分
V	人間工学の応用	生活・産業場面で人間が使用する機器の設計、インターフェイスの設計、システムの設計、組織・職務形態の設計、生活・街づくり並びに安全・健康・福利に関する応用性の高い部分
VI	人間工学評価	人間工学の統合原理に基づく実的な応用場面における使いやすさ、働きやすさ、安全性、生産性、適応性などからの分析・評価に関する基礎的知識

D-3. 人間工学の実践事例

実践事例として提出するものは、社外に未発表のものでも結構です。ただし、その場合は企業秘密の漏洩等に該当しないようにしてください。

また、実践事例は3件ご提出いただきますが、1件ごとに証明ができるような資料（論文別刷りやカタログなど）を必ず添付してください。

資料が膨大になる場合には、該当する部分のみのコピーでも結構ですが、全体の構成や出典が分かるように、表紙や目次も添付してください。

D-4. 人間工学の実践に関連する論文

論文の件数が極めて多い場合には、主要なものみの記載でも結構です。

以 上

A-1. . 日本人間工学会認定人間工学専門家資格 認定試験受験申込書

<申請者のプロフィール>

Name	Last	First
ふりがな 氏名	○ ○	○ ○
Organization 所属	例1 ○○大学○学部○○学科	
	例2	△△株式会社△△事業部 など
Current Position 役職	例1 教授	
	例2	研究員 など
所在地	〒 必ず記入して下さい	
電話番号	必ず記入して下さい	
学会会員番号	○○○○ (出願時に非学会員の場合は記入不要)	
人間工学の中での 専門分野	例1 ユーザビリティ	例2 人間工学 など
自宅住所	〒 必ず記入して下さい	
電話番号	必ず記入して下さい	
書類送付先	<input type="checkbox"/> 所属組織 <input type="checkbox"/> 自宅 (どちらかを必ず選択してください)	
連絡先電子メール	@ 必ず記入して下さい	

以下の申請内容に虚偽がないことを宣誓します。

(署名) 必ず自署してください。

B-1. 経歴書

2010年5月**日現在

Name	Last	First	写真を貼る位置 縦 4cm 横 3cm 本人の上半身
ふり 氏	がな 名	(印)	
年	月	経歴（公的な委員や臨時講師等もご記入ください）	
西 暦		例 ○○大学○○学部○○学科 卒業	
		例 ○○大学大学院○○学研究科○○専攻（修士） 修了	
		例 ○○大学○○学部○○学科 助手	
		例 △△株式会社△△事業部人間工学部門 研究員	
		上記の例を参考にして、学歴や職務歴が分かるようにお書きください	
これまでに取得した資格等（級等レベルがあるものはレベルも記入）			

C-1. 大学・大学院等における専門教育受講履歴、取得学位及び関連単位取得表

<大学／大学院等における教育受講履歴>

大学及び大学院等における教育受講履歴をすべて記入してください。

	卒業学校名 (大学／大学院等)	学部・学科／ 研究科・専攻	講座／研究室 ゼミ等	入学年	卒業年
1	〇〇大学	〇〇学部・〇〇学科	例1 人間工学研究室 例2 〇〇教授研究室	〇〇〇〇 西暦	〇〇〇〇 西暦
2			教員名による記載はな るべく避けてください		
3					
4					
5					

<人間工学関連の学位及びその概要>

人間工学関連の研究において取得した学位（学士、修士、博士）をすべて記入してください。またその学位を取得した時の論文のタイトルとその概要を説明してください。なお研究内容が人間工学分野でない場合には、記入されなくても結構です。

	大学名	学位区分	論文タイトルとその概要	指導教官名	取得年
1	〇〇大学	例 工学士	〇〇に関する人間工学的実験研究 〇〇について人間工学的手法による実験を行 い、その効果を明らかにした。	〇〇〇〇	〇〇 西暦
2					
3					

<人間工学専門科目単位取得表>

大学又は大学院等において取得した人間工学専門科目及びその概要について記入してください。ページ数が不足する場合はコピーしてお使い下さい。なお「人間工学専門科目」とは、人間工学の専門知識・能力（表1参照）を習得することを目的として開講される科目を指します。単位数は、週に1回90分の講義が1年の半期（前期又は後期）にわたる場合を2単位とします。

	授業科目名及び授業の概要	習得した 専門能 力・知識	授業形態	単位数	受講年度 ／学年
1	例 人間工学	I、II	<input type="checkbox"/> 講義, <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験, <input type="checkbox"/> 輪講 <input type="checkbox"/> 他_____	4	例 修士1年
2	単位数は、上記を基本としますが、卒業研究や修士論文などの場合には、各機関で定めている単位数をそのまま記入してください。	表1を参照の上、選択記入してください	該当するものをチェックしてください。 卒業研究・修士論文等は、「他」にチェックしてください。		
3			<input type="checkbox"/> 講義, <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験, <input type="checkbox"/> 輪講 <input type="checkbox"/> 他_____		
4			<input type="checkbox"/> 講義, <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験, <input type="checkbox"/> 輪講 <input type="checkbox"/> 他_____		
5			<input type="checkbox"/> 講義, <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験, <input type="checkbox"/> 輪講 <input type="checkbox"/> 他_____		
6			<input type="checkbox"/> 講義, <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験, <input type="checkbox"/> 輪講 <input type="checkbox"/> 他_____		
7			<input type="checkbox"/> 講義, <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験, <input type="checkbox"/> 輪講 <input type="checkbox"/> 他_____		
8			<input type="checkbox"/> 講義, <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験, <input type="checkbox"/> 輪講 <input type="checkbox"/> 他_____		
単位数合計					

<人間工学関連科目単位取得表>

大学又は大学院等において取得した人間工学関連科目及びその概要について記入してください。ページ数が不足する場合はコピーしてお使い下さい。なお「人間工学関連科目」とは、人間工学専門科目ではないが、人間工学の専門知識・能力の習得に大きく寄与する科目を指します。単位は、週に1回90分の講義が1年の半期（前期又は後期）にわたる場合を2単位とします。

<人間工学関連科目単位取得>

	授業科目名、授業の概要及び 人間工学専門家としての実践とのかかわり	授業形態	単位数	受講年度 /学年
1	例 物理学	<input type="checkbox"/> 講義, <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験, <input type="checkbox"/> 輪講 <input type="checkbox"/> 他_____		
2	大学院の場合、修士論文の作成に関わる科目、たとえば特別研究・特別演習などは、修士論文として参入しますので、ここには記入しないでください。	該当するものをチェックしてください。		
3		<input type="checkbox"/> 講義, <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験, <input type="checkbox"/> 輪講 <input type="checkbox"/> 他_____		
4		<input type="checkbox"/> 講義, <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験, <input type="checkbox"/> 輪講 <input type="checkbox"/> 他_____		
5		<input type="checkbox"/> 講義, <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験, <input type="checkbox"/> 輪講 <input type="checkbox"/> 他_____		
6		<input type="checkbox"/> 講義, <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験, <input type="checkbox"/> 輪講 <input type="checkbox"/> 他_____		
7		<input type="checkbox"/> 講義, <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験, <input type="checkbox"/> 輪講 <input type="checkbox"/> 他_____		
8		<input type="checkbox"/> 講義, <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験, <input type="checkbox"/> 輪講 <input type="checkbox"/> 他_____		
単位数合計				

C-2. その他の人間工学専門教育受講履歴

大学又は大学院等以外において受講した人間工学専門家として必要な教育履歴を記入してください。受講科目名、その概要、主催、受講時間等詳細に記入してください。単位換算の欄は、2時間0.2単位（端数切捨て）として換算し、記入してください。

	受講科目及び概要	開催場所／主催	受講時間	受講年月日	単位換算
1	例 ○○集中セミナー	例 ○○研修協会	例 6		0.6
2			単位換算は、上記を参照してください		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
合計単位換算					

D-1. 人間工学の実践に関する業務歴

No.1 業務・プロジェクト名	例 人間工学に関する研究・教育指導
開始(1991年 4 月)～終了(1993年 3 月)	左記は2年間の例です
期間 (2 年 ヶ月) →①	
この業務・プロジェクトが当該時期の業務全体で占めた割合 (60)%	→② * 1
所属機関名 [実施時]	例 ○○大学○○学部
所属部署名 [実施時]	例 ○○学科
この業務歴を証明できる方の氏名と連絡先	氏名: ○山○夫 電話番号: (所属) ○○大学○○学部 * 2
プロジェクトのメンバー構成と役割分担	例 ○山○夫(統括責任者) 例 ○○○○(実施担当者および科目責任者)
本人の役職名 [実施時]	例1 助教授、例2 研究員、例3 開発部員 など
人間工学業務・プロジェクトの概要: 以下に記載例を示します。	
1. 人間工学的技法による製品開発 ○○の開発設計にあたり、人間工学的手法による実験・研究を行った。	
2. 卒業研究の指導 人間工学の視点から、○○に関する実験・研究を行い、学生の論文作成を指導した。	
* 1 業務全体で占めた割合については、100%を上限として、ご自身の判断で記載してください。	
* 2 該当業務に従事した方であればどなたでも結構です。	

(次ページへ続く)

No.1 業務・プロジェクト名		例 人間工学に関する研究・教育指導
<p>この業務・プロジェクトで申請者が果たした役割 以下に記載例を示します。 実験や調査の実施計画を立案し、人間工学的知識や技術を活用して製品開発を行った。</p>		
実践した人間工学の 専門知識・能力 (どのように実践した のかを具体的に記 述すること) 左記の該当する箇 所に記載してくださ い。	I. 人間工学の原理	
	II. 人間の特性	
	III. 人間の特性の 測定・評価	実験に際して、人間の生理・心理学的諸特性を測定し、 その後の分析・評価に関する部分
	IV. 環境特性	
	V. 人間工学の応用	
	VI. 人間工学評価	
実践した業務の形態 (該当するものをチェック、複数回答可) ⇒		<input type="checkbox"/> 設計 <input type="checkbox"/> 評価・テスト <input type="checkbox"/> 分析 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> その他() 該当するものをチェックしてください
人間工学の割合を記入 ⇒		人間工学業務の割合 (例 100)% →③
人間工学実務経験期間		①(2年) × ②(60%) × ③(100%) = (14.4ヶ月)

試験委員会使用欄

D-3. 人間工学の実践事例

実践事例 No.1	
背景と目的	
概要	人間工学とのかかわりが分かるよう、できるだけ詳細にお書きください。
着眼点・特徴	
申請者の果たした役割	
活用した人間工学的知識・技術・手法	できるだけ具体的にお書きください
得られた効果	
添付する資料の名称	研究論文・カタログ等で結構ですが、本人の関与が確認できることが必要です。

D-4. 人間工学の実践に関連する論文

人間工学の実践経験を証明することが出来る論文のリストを記述してください。記入欄が不足する場合には、このページをコピーして追加してください。

	論文 著者名、表題・雑誌名／書名、巻（号）、ページーページ、 発行年（西暦）	論文種類	人間工学的実践 技術 (複数選択可)
1.	必ずしも筆頭者である必要はありません。 執筆者が複数いる場合には、掲載の順どおり お書きください。	<input type="checkbox"/> 査読付き論文 <input type="checkbox"/> 査読なし論文 <input type="checkbox"/> 発表講演集 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 設計 <input type="checkbox"/> 評価・テスト <input type="checkbox"/> 分析 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> その他
2.		<input type="checkbox"/> 査読付き論文 <input type="checkbox"/> 査読なし論文 <input type="checkbox"/> 発表講演集 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 設計 <input type="checkbox"/> 評価・テスト <input type="checkbox"/> 分析 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> その他
3.		<input type="checkbox"/> 査読付き論文 <input type="checkbox"/> 査読なし論文 <input type="checkbox"/> 発表講演集 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 設計 <input type="checkbox"/> 評価・テスト <input type="checkbox"/> 分析 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> その他
4.		<input type="checkbox"/> 査読付き論文 <input type="checkbox"/> 査読なし論文 <input type="checkbox"/> 発表講演集 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 設計 <input type="checkbox"/> 評価・テスト <input type="checkbox"/> 分析 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> その他
5.		<input type="checkbox"/> 査読付き論文 <input type="checkbox"/> 査読なし論文 <input type="checkbox"/> 発表講演集 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 設計 <input type="checkbox"/> 評価・テスト <input type="checkbox"/> 分析 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> その他

D-2 <業務歴整理シート>

No.	業務・プロジェクト名	①	②	③	④	使用した専門知識・能力 (該当するものに○をつける)					
		業務期間 (ヶ月)	全体に占める割合(%)	人間工学業務割合(%)	実務経験期間 =①×②×③	I	II	III	IV	V	VI
1	例 人間工学に関する研究・教育指導	24	60	100	14.4			○			
2	例 人間工学を活用した商品設計 右記は例です	48	60	100	28.8						
	複数の業務・プロジェクトを同一期間に行った場合、全体に占める割合は100%が上限となります。 実務経験期間の合計も暦年の期間が上限となります。										
	例 200年4月～2001年3月までの期間中に2件以上の業務を行った場合、それぞれの全体に占める割合が60%、人間工学業務割合が100%であっても換算結果は下記ようになります。 報復していない2ヶ月は、60% → 1.2月 重複した6ヶ月は 60%+60%=100% → 6.0月	業務-1 8ヶ月 業務-2 6ヶ月	60% 60%	100% 100%	1.2 6.0						
	合計										

人間工学業務歴 合計月数 _____ヶ月 (各業務の④の合計)